

# 心づかい

鳥取県 ほうせんじ 宝泉寺住職 まつ もと どう こう 松本道宏

---

今朝は心づかいというお話です。

サービスエリアでの出来事です。昼食の時間が近づいたので、サービスエリアの軽食コーナーで食事することにしました。軽食コーナーは、ちょうど春休みの時期と重なり混み合っていました。隣のテーブルには既に四人の家族ずれが食事をしていました。両親と小学校低学年と思われる男の子と女の子がいて、丼物や、麺類を食べていました。しばらくして、その家族は食べ終わり、自分たちが食べた器を、片付け始めました。

その時、男の子が母親に「テーブル汚れちゃったから拭く物ない？」と言いました。母親が「そうね、次に座る人が嫌な気分にならないように綺麗にしておかないとね！」と、カウンターから布巾を持ってきてテーブルを拭いていました。

この家族の次に誰がその席に座るかは分かりません。しかし、その分からない誰かのために綺麗にして整えておいてあげたいと思う、男の子の素直で優しい気持ちに私も共感しました。早速食べ終わった後、私もテーブルを拭いて席を離れました。

日々の生活では、自己を中心に考えがちですが、次の人の為に小さな心づかいをすることで、人と人とのつながりが希薄な社会でも、豊かで安らいだ一時を得ることが出来ると信じたいと思います。

この男の子のように、素直な心のまま年を重ねていきたいものです。